

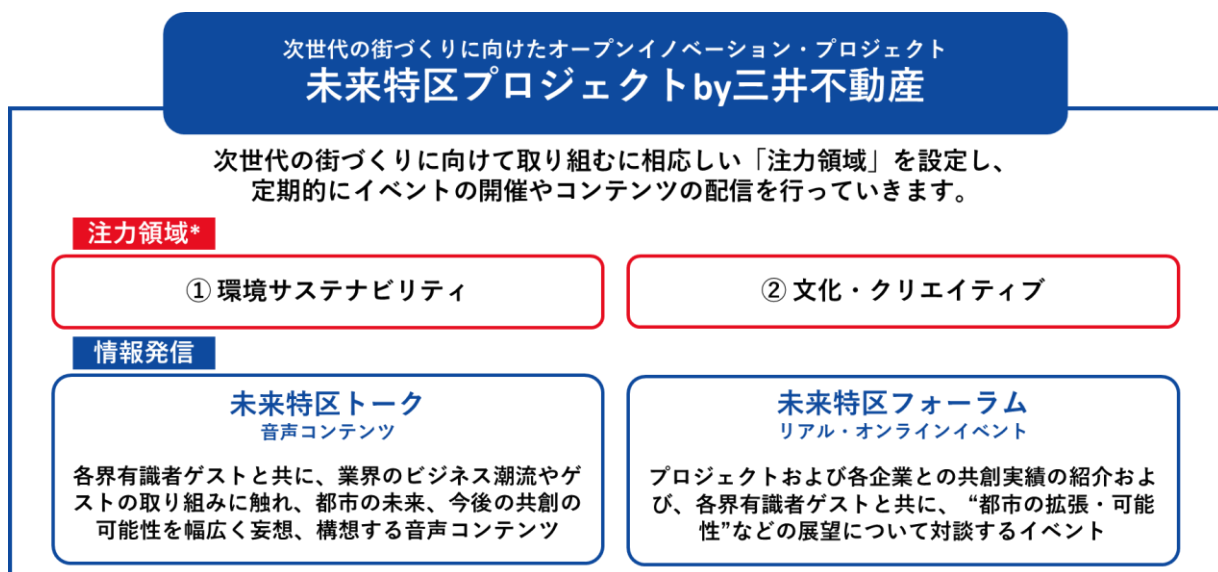
## 次世代の街づくりに向けたオープンイノベーション・プロジェクト 「未来特区プロジェクト by 三井不動産」

### 東京ミッドタウン八重洲「イノベーションフィールド八重洲」を起点に、本日より再始動

三井不動産株式会社(本社:東京都中央区 代表取締役社長:植田俊)は、2021年から2022年にかけて、創立80周年記念事業の一環として実施した「未来特区プロジェクト by MitsuiFudosan Co.,Ltd.」を多様なパートナーと次世代の街づくりに向けた事業を共創する「未来特区プロジェクト by 三井不動産」(以下、「未来特区プロジェクト」)として再始動します。東京ミッドタウン八重洲「イノベーションフィールド八重洲」内のプロジェクト拠点を起点に、本日より各種発信を行います。

「未来特区プロジェクト」は、当社が次世代の街づくりに向けた「注力領域」を設定し、その領域における事業の共創をスタートアップ、アカデミア、クリエイター、大企業等の多様なプレイヤーに呼び掛け、推進するオープンイノベーション・プロジェクトです。「未来特区プロジェクト by MitsuiFudosan Co.,Ltd.」で出会ったパートナーとの事業共創をさらに発展させた継続的なプログラムとして再始動します。再始動にあたっては「環境サステナビリティ」、「文化・クリエイティブ」の2つを「注力領域」と位置づけます。本日5月29日よりポッドキャストにて音声コンテンツ「未来特区トーク」を配信開始、6月20日には「未来特区フォーラム」を事業開始のキックオフイベントとして開催し、定期的にコンテンツ配信やイベント開催等を行います。今後は、各「注力領域」において共創パートナーを探索し、新規事業化を目指します。

街づくりを通して社会課題の解決に取り組んでいる当社は、「未来特区プロジェクト」を通じて、次世代に向けて取り組むに相応しいテーマを設定し、共創パートナーと新しい事業を創り上げ、中・長期的な戦略新規事業として推進してまいります。



\*注力領域は今後拡大予定

**スタートアップ、アカデミア、クリエイター、大企業等の  
様々なパートナーと事業共創し、新規事業化、未来の都市の実現**

「未来特区プロジェクト」の推進にあたっては、各「注力領域」において、当社が中心となり専属的に共創パートナーの探索と新規事業化の検討を行うチームを組成します。

「未来特区トーク」での情報発信、「未来特区フォーラム」等のイベントやプログラムを実施するとともに、共創パートナーの探索を行います。新規事業化にあたっては、スタートアップとの共創に取り組む「31VENTURES」※1、新たな価値創出と社会課題の解決を目指す人々が集うビジネス拠点「BASEQ」※2 等の当社のリソースを活用するほか、出資や共同事業、合併会社設立等も検討します。推進にあたっては以下のような思いを重視しています。

#### プロジェクト推進に当たっての思い

### 1. Openness

業界、慣習、既存概念にとらわれず、可能性を模索するために多くの人と会い、対話します

### 2. Resources

三井不動産の持つアセットやサービスなど、様々なリソースを横断的に拠出します

### 3. Co-creation

企業や個人を問わず、想いを共にしたパートナーシップのもと、「共創事業」の構築を目指します

### 4. +20 FIRST

四半期や年単位での短期的な需要や利益ではなく、「20年後に実現したい未来」を見据えます

※1 「31VENTURES」WEB サイト:<https://www.31ventures.jp/>

※2 「BASEQ」WEB サイト:<https://www.baseq.jp/>

## ■「注力領域」について

「未来特区プロジェクト」の再始動にあたり以下 2 つを「注力領域」として設定します。「注力領域」は今後拡大も検討しています。

### ① 「環境サステナビリティ」領域

脱炭素等の環境・エネルギー領域を中心に、地球の持続可能性に貢献する事業創出を目指します。

#### <先行する新規事業の例> EV 充放電システムを用いた地域エネルギー・マネジメント事業

事業用 EV(電気自動車)に特化した充放電システムを開発する株式会社 Yanekara※3 と共に、EV 充放電器を当社施設や街づくりエリアに配備、EV 普及を都市インフラ面から支えると同時に、電力系統への負担を軽減するエネルギー・マネジメント事業の構築を目指しています。

※3 株式会社 Yanekara は創立 80 周年記念事業「未来特区プロジェクト by MitsuiFudosan Co.,Ltd.」におけるビジネスアイデアコンテストの優勝スタートアップであり、2023 年 11 月に当社の CVC ファンド「31VENTURES Global Innovation Fund 2 号」を通じ出資しています。

### ② 「文化・クリエイティブ」領域

アート・エンターテインメント等の文化・クリエイティブ領域におけるクリエイターやコンテンツと不動産ビジネスを掛け合わせ、人々の生活の豊かさに貢献するための事業創出を目指します。

アート・エンターテインメント等のクリエイティブコンテンツを有する共創パートナーに対して、「場の提供」に留まらず、イベント等の主催または共催による実施や、体験型エンターテインメント施設等の共同開発・運営等、当社のリソースを包括的に拠出しサポートします。



日本のオリジナルコンテンツにも注目し、日本酒イベント「SAKE PARK」や書道家による POPUP イベント等開催を推進

## ■2023年6月20日「未来特区フォーラム」を開催、本日より参加者募集開始

### <開催概要>

2023年6月20日に「東京ミッドタウン八重洲」において、キックオフイベントとなる「未来特区フォーラム」を開催、本日より参加者募集を開始いたします。

「未来特区フォーラム」では、80周年記念事業として立ち上がって以降、各団体との共創実績の紹介および、“都市の拡張・可能性”などの展望について、「未来特区プロジェクト」の当社担当者が各界有識者と対談を行います。

タイトル	未来特区フォーラム
日時	6月20日(火)16時00分～18時30分(交流会含む)
形式	リアル開催(一部オンライン同時配信、アーカイブ配信実施)
開催場所	東京ミッドタウン八重洲 5階 「イノベーションフィールド八重洲」内 東京都中央区八重洲二丁目2番1号
主催	三井不動産株式会社
協力	株式会社ニューズピックス
スケジュール概要	16時00分～ オープニングトーク 16時30分～ A.環境サステナビリティ領域 トークセッション B.文化・クリエイティブ領域 トークセッション 17時30分～ 交流会／アフタートークセッション

<登壇者> ※登壇者は変更となる場合がございます。

#### A.環境サステナビリティトークセッション



西村勇哉さん  
株式会社エッセンス

#### B.文化・クリエイティブトークセッション



CEKAI / 世界株式会社

### <参加者募集>

本日5月29日よりリアル・オンラインの参加者を募集いたします。イベント詳細・チケット購入につきましては、未来特区プロジェクト Peatix イベントページよりご確認の上お申し込みください。

「未来特区フォーラム」 Peatix イベントページ: <https://miraitokku-forum-01.peatix.com>

## ■本日 5 月 29 日より「未来特区トーク」の配信開始

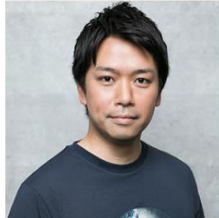
「未来特区プロジェクト」の当社担当者がゲストをお招きし、業界のビジネス潮流やゲストの取り組みに触れ、都市の未来、今後の共創の可能性を幅広く妄想、構想する音声コンテンツ「未来特区トーク」をポッドキャストにて配信します。本日 5 月 29 日から当社担当者によるトークセッションを第 1 回目として公開します。

＜出演者＞ ※出演者は変更となる場合がございます。※五十音順

環境サステナビリティ領域



川島壮史さん  
U3 イノベーションズ  
合同会社



小正瑞季さん  
一般社団法人  
SPACE FOODSPHERE



中山淳雄さん  
エンタメ社会学者



長谷川左希子さん  
株式会社 TW service



草野美木さん  
Off Topic, Inc.

文化・クリエイティブ領域

モデレーター

「未来特区トーク」番組ページ:(Apple) <https://apple.co/3OJMV4>

(Spotify) <https://spoti.fi/3MzgBlt>

## ■「未来特区プロジェクト」に関するお問い合わせ

未来特区プロジェクトの活動、事業共創に関しては Web ページより直接お問い合わせください。

「未来特区プロジェクト」 Web サイト:<https://www.miraitokku.com/>

「未来特区プロジェクト」拠点:東京ミッドタウン八重洲 4 階「イノベーションフィールド八重洲」内

## ■三井不動産グループの SDGs への貢献について [https://www.mitsuifudosan.co.jp/esg\\_csr/](https://www.mitsuifudosan.co.jp/esg_csr/)

三井不動産グループは、「共生・共存」「多様な価値観の連繋」「持続可能な社会の実現」の理念のもと、人と地球がともに豊かになる社会を目指し、環境(E)・社会(S)・ガバナンス(G)を意識した事業推進、すなわち ESG 経営を推進しております。当社グループの ESG 経営をさらに加速させていくことで、日本政府が提唱する「Society 5.0」の実現や、「SDGs」の達成に大きく貢献できるものと考えています。また、2021 年 11 月には「脱炭素社会の実現」、「ダイバーシティ&インクルージョン推進」、2023 年 3 月には「生物多様性」に関し、下記の通りグループ指針を策定しました。今後も、当社グループは街づくりを通じた社会課題の解決に向けて取り組んでまいります。

### 【参考】

・「脱炭素社会実現に向けグループ行動計画を策定」

<https://www.mitsuifudosan.co.jp/corporate/news/2021/1124/>

・「ダイバーシティ&インクルージョン推進宣言および取り組み方針を策定」

[https://www.mitsuifudosan.co.jp/corporate/news/2021/1129\\_02/](https://www.mitsuifudosan.co.jp/corporate/news/2021/1129_02/)

・「グループ生物多様性方針を策定」

<https://www.mitsuifudosan.co.jp/corporate/news/2023/0413/>

\*なお、本リリースの取り組みは、SDGs(持続可能な開発目標)における 3 つの目標に貢献しています。

目標 9 産業と技術革新の基盤をつくろう  
目標 11 住み続けられる街づくりを  
目標 17 パートナリシップで目標を達成しよう



SUSTAINABLE  
DEVELOPMENT  
GOALS